

高校生が最先端バイオ実験を体験

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センターでは、地域貢献事業の一環として、高校生を対象にした夏のバイオ実験体験講座を開催します。本講座は、最先端バイオ研究の一端を高校生が「見る・聞く・触れる」ことで、バイオ研究と日常生活との関わりや、学術研究を行う意味を理解してもらうプログラムです。当日の講座では「DNAを見る・触る」ことから始め、「コメのDNA鑑定」や「遺伝子組換え技術で光る大腸菌を作る」などの実験を、一線級の研究者の指導の下、実際に体験します。平成28年度は、140名を超える応募があり、2日間の講座を4回実施します。

	開催日	参加予定人数	
第1回	7月28-29日	約30名	DNAを見る・触る「野菜のDNAを見る・触る」 コメのDNA鑑定「自宅から持参した米粒の品種鑑定」 光る大腸菌作成「遺伝子組換え技術で光る大腸菌を作る」
第2回	8月2-3日	約50名	
第3回	8月4-5日	約30名	
第4回	8月9-10日	約40名	



当センターでは本講座に関する取材を歓迎いたします。実験内容やスケジュールの詳細は当センターのHPに掲載していますので御覧ください。（随時更新予定）<http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

[本件に関する問い合わせ先]

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター
広報担当 大野（おおの）

Tel: 028-649-5527 Fax: 028-649-8651
E-mail: c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp